RYUSEN 隆泉
Autumn 2015
vol. 46

「隆泉」2015年秋号
通巻46号（年4回発行）
平成27年10月1日発行
編集・発行／公益財団法人 佐野美術館
〒411-0838　静岡県三島市中田町1-43
TEL 055-975-7278
FAX 055-973-1790
http://www.sanobi.or.jp/
デザイン／きむら工房
印刷／日本レーベル印刷株式会社

絵本に教えてもらった、人生でいちばん大切なもの
―「勇気」「やさしさ」「おもいやり」

宮西達也ワンダーランド展
～ヘンテコリンな絵本の仲間たち
2015.10.3［土］― 11.23［月・祝］

『おとうさんはウルトラマン』複製画　1996年　学研教育出版
©宮西達也　©円谷プロ

静岡の生んだ大人気絵本作家、宮西達也さん。鮮やかな色、力強い線、何よりユニークで楽しい、ヘンテコなキャラクターの数々は、多くの子どもたちに愛されています。

中でも人気なのは、子育てに奮闘する正義の味方を描いた『おとうさんはウルトラマン』シリーズと、力はめっぽう強いけど実は心優しい恐竜が主人公の「ティラノサウルス」シリーズです。

前者は、宮西さん自身がお父さんになったことをきっかけに、「お父さんの絵本をウルトラマンで描こう」と始めたシリーズです。外で怪獣相手に戦い、家では子ども相手の良きパパとなるウルトラマンの姿には、世の中のお父さんたちの気持ちが正直に現れています。

一方、ティラノサウルスシリーズは、「お金持ちで名誉や地位がある人が必ずしもエライんじゃない」というメッセージを子どもたちに伝えようと考え出されました。力の強い存在を代表するのが、地上最大級の肉食恐竜・ティラノサウルス。対して、弱い存在でありながら、純粋な心と思いやりにあふれたアンキロサウルスの赤ちゃん“ウマソウ”を登場させ、2人の衝撃的な出会いから物語が始まります。ウマソウの愛らしさ、それにほだされてつい優しい本音が出てしまうティラノ。最後は、大切なもののために自ら身を引くティラノの姿に胸が詰まります。

その他にも、こわーいドラ猫に心から信頼を寄せる子ねずみの話『にゃーご』、生と死という命題をシュールな死神キャラクターによって描いた『シニガミさん』など、人生にとって大切なことが宮西さんの絵本にはたくさん詰まっています。

「あ、これ大事だなって思ったことを絵本にしていく。」「世の中の流れ、ぼくの気持ち。…テーマが決まると、キャラクターが決まる。」子どもの時に読んでもらった記憶が、自分もこうやって生きたい、という気持ちに変わる、それが「絵本の力」だと宮西さんは思っています。大切なことはすべて絵本から教わった―そう確信させられる宮西ワールドなのです。

（副館長・学芸グループ長　坪井則子）

『おまえ うまそうだな』複製画
2003年　ポプラ社

『にゃーご』原画　1998年　鈴木出版

ミュージアムショップ

宮西達也グッズ盛りだくさん!!
※宮西達也ワンダーランド展会期中（10/3～11/23）のみの販売です。

絵本各種
842円（税込）～
なんと80冊以上の品揃え

ジグソーパズル
1,080円（税込）

ミニタオル
810円（税込）

全日本刀匠会製作ブルーレイディスク
各8,640円（税込）
吉原國家、宮入小左衛門行平、
月山貞利、本阿彌光洲、
名だたる現代刀匠の鍛錬や
インタビュー、
研磨技術を収録

ランチョンマット
648円（税込）
マグカップ
1,080円（税込）

永尾駒製作所
肥後守ナイフ
1,512円（税込）

宮西達也
ワンダーランド展図録
2,200円（税込）

別冊絵本
「いとしのカラータイマー」収録!
「おとうさんはウルトラマン」シリーズと
「ティラノサウルス」シリーズの
夢のコラボレーション

プレゼントコーナー
※抽選で2名様に［プ］マークの品を差し上げます。「プレゼントコーナー応募」、ご住所、お名前、電話番号、隆泉の感想と隆泉に掲載したい一言コメントを明記の上、佐野美術館「隆泉」係まで郵便かFaxでお送りください。一言コメントのテーマは「冬の楽しみ」です。
しめきり：2015年11月15日（消印有効）
・当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
・いただいた個人情報はプレゼントの発送以外に使用いたしません。

これぞ、刀剣王国
―燦然たる備前国の至宝

備前刀剣王国
2015.11.29［日］― 2016.1.24［日］

備前はなぜ「刀剣王国」なのでしょう？　日本国内には備前（岡山県）の他に、いくつかの刀剣の産地があります。そのような中で、国別に刀工の数を数えると一番多いのが備前国。また現在、刀剣で国宝・重要文化財に指定されている作品を国別でみると、一番多いのが備前国。数字の上からも備前は刀剣王国と呼ぶに相応しい国といえるでしょう。

本展では備前刀の各時代を代表する主要な刀工と流派に焦点をあて、ご紹介します。

平安時代後期（12 世紀）は、日本刀独自の反りのある形が完成した時期です。この頃から備前では多くの刀工が活躍しており、続く鎌倉時代には一文字派・長船派という大きな流派が生まれ、時代をリードする様式を次々に生み出しました。

特に長船派は、後に備前刀すなわち長船といわれる程の隆盛をみせます。展覧会に出品される代表作をご紹介しましょう。

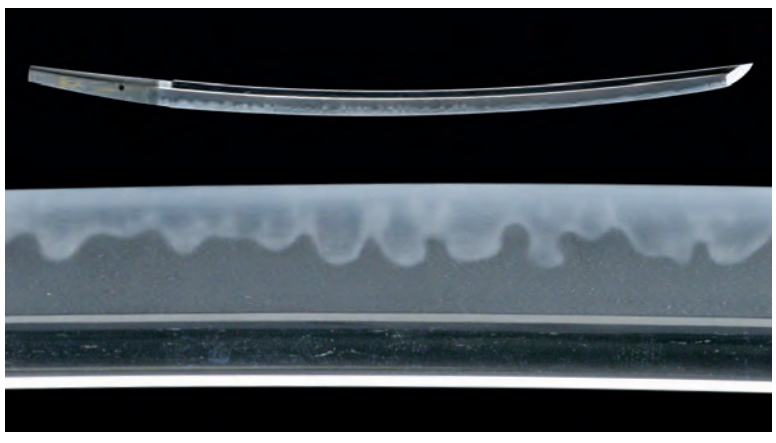
長船派の祖・光忠の《国宝　刀　金象嵌銘　光忠　光徳（花押）／生駒讃岐守所持（号　生駒光忠）》。身幅の広い豪壮な姿に、華やかな丁子乱れの刃文が見事です。茎の金象嵌銘の「光忠　光徳」とは、豊臣秀吉に仕えた名鑑定家・本阿弥光徳が「これは光忠の作である」と極めたという意味。秀吉に仕えた生駒讃岐守親正が所持していた、世に生駒光忠と号して名高い一口です。

《重要美術品　刀　金象嵌銘　波およき末代剱兼光也／羽柴岡山中納言秀□所持之》。徳川八代将軍吉宗の命で国中の名物刀剣を集めて編纂された『享保名物帳』に大業物として掲載されている一口です。茎に記された「波およき」は、川端でこの刀に切られた人物が川の向こう岸まで泳ぎ切った後、真っ二つになった、というエピソードに由来します。

このような名刀を数多く生み出し約四百年に渡り隆盛を誇った刀剣王国は、後ろ盾であった赤松氏などの守護大名の没落、長船村を襲った大洪水など複数の要因が重なり、戦国時代と共に終焉を迎えました。

かつて「備前刀」はすなわち名刀を意味し、「備前刀を持っている」ことはひとつのステータスだったといいます。今回は備前の名だたる名刀が一堂に会するまたとない機会です。ぜひご覧頂きたいと思います。

（学芸グループ　志田理子）

重要美術品　刀　金象嵌銘　波およき末代剱兼光也　羽柴岡山中納言秀□所持之〈名物　波游兼光〉　南北朝時代　（株）ブレストシーブ蔵

国宝　刀　金象嵌銘　光忠　光徳（花押）
生駒讃岐守所持　〈号 生駒光忠〉　鎌倉時代　永青文庫蔵